

ひろしま文化・芸術振興ビジョン

～ 「21世紀のひろしま文化」を発信するために ～

広 島 県

目 次

新たな文化・芸術振興の指針の必要性	1
1 文化を取り巻く環境の変化	1
2 広島県文化振興ビジョンの成果と課題	4
基本目標	6
施策	7
1 創造を促す文化・芸術環境の充実	7
2 多様な主体による文化・芸術交流の推進	9
3 文化遺産の活用と次世代への継承	11
推進体制	12
文化・芸術振興施策の体系	13
1 広島県の文化・芸術振興を進めるために	13
2 体系別文化・芸術振興施策（主要な取組）	14

新たな文化・芸術振興の指針の必要性

近年の文化を取り巻く環境の変化を踏まえ、また、平成4年に策定した「広島県文化振興ビジョン」の成果を継承し、より一層発展させるとともに、残された課題を解決するため、21世紀にふさわしい新たな文化・芸術振興に関する指針が必要となっています。

1 文化を取り巻く環境の変化

現在、我が国は、政治・経済を始め社会の各分野において、大きな歴史の転換期にあります。この10年間、文化を巡っても様々な社会潮流の変化が見られました。

価値観の多様化と変革の時代

戦後のめざましい高度経済成長により世界の経済大国となった我が国は、極めて高い所得水準を実現するに至りました。物質的な豊かさが達成され、価値観の多様化が進む中、人々が精神的な安らぎや潤いのある生活など心の豊かさを重視する傾向は年々強まり、一人ひとりが多様な価値観に基づき、自己実現を図るライフスタイルは定着しつつあります。

一方では、高度経済成長を支えた経済効率最優先の日本型社会経済システムにより、現代社会には、環境問題をはじめとする様々なひずみをもたらされ、構造改革や行財政改革など大きな変革を迫られている中、人々の間には将来に対する不安が募り、社会全体の活力の低下が懸念されています。

このような時代において、文化は、人々に楽しさや感動、精神的な安らぎや生きる喜びをもたらし、人生を豊かにするものであると同時に、多様な価値観が共存する成熟社会にあっては、共感する心、他者への寛容さを育むものとして、その重要性が一層増してきています。

また、「先行き不透明な時代」と言われる今日、文化は、未知の課題解決のための創造力・想像力を育むとともに、社会に活力をもたらすものとしてその役割が期待されているところです。

高度情報社会の到来

インターネットやブロードバンドの普及に象徴されるIT（情報通信技術）の急速な進歩により、情報の地域間格差は解消され、地方においても多種多様な情報の受発信が可能となり、また、デジタル技術の飛躍的向上

は、CG（コンピュータ・グラフィックス）をはじめ、新しい表現手段を創出し、創造活動の範囲は大きく拡充されつつあります。

しかしながら、こうした電腦空間への過度の没入は、人間関係を希薄にし、特に若い世代において、実体験の不足や現実社会への適応能力の低下をもたらす一因となるなど、情報化の負の側面も指摘されています。

このような高度情報社会にあっては、情報の効果的な発信や、新しい技術の有効活用を促す創造力を養うとともに、コミュニケーションの増進や他人を思いやる心を育むという面で、文化の役割が大きく見直されているところです。

グローバル化の進展

今日、経済活動をはじめ、様々な分野においてグローバル化が進み、人・物・情報の交流は地球規模で日常的に行われるところとなり、他の国、民族の人々とふれあう機会は飛躍的に拡大してきています。

他方、グローバル化の進展による国際競争の激化に伴い、各分野で導入されているグローバル・スタンダードは、公平性を担保する一方で、国際社会を同質化させ、その多様性を薄めていくという危険性をもはらんでいると考えられます。

こうした中、文化による国際交流は、異なる歴史的背景や価値観を持つ国、民族との相互理解を深め、多様な文化の共存による世界平和の礎を築くものとして、その積極的な推進が望まれているところです。

地方分権の時代

地方分権推進一括法の成立を契機として、市町村合併をはじめ地方分権の動きが急速に進む中、活力ある地域づくりのため、地域の自立とアイデンティティの確立が求められています。

一方で、価値観の多様化、少子高齢化、都市化・過疎化の進展など社会の急激な変化は、地域コミュニティの質的な変容を促し、地域社会の連帯感希薄化しつつあります。

このような中で、地域固有の歴史と風土に育まれてきた文化や、住民参加の文化活動は、郷土への誇りと愛着を深め、地域住民共通のよりどころとして、個性あふれる豊かな地域づくりに大きな役割を担うものと期待されています。

文化の意義、役割の再評価

「物の豊かさから心の豊かさへ」という人々の志向の変化を背景として、これまで文化の意義、役割については、心に安らぎや潤いをもたらす、あるいは文化を通じて自己実現を図るなど、主として個人の生活の質の向上という観点から語られてきました。

一方で，人と人との共感の涵養，人間の創造力・想像力の育成など，文化が本来的に持つ意義，役割は，活力ある社会の実現，経済の活性化，個性豊かな地域づくり，さらには世界平和の実現に至るまで，社会全体に広がりを持っており，その重要性に対する再評価の機運が高まっているところです。

また，国においては，平成13（2001）年12月に文化芸術振興基本法を制定し，文化芸術の振興に関する施策を総合的に推進することとされました。

2 広島県文化振興ビジョン(平成4年11月策定)の成果と課題

広島県では、文化振興ビジョン策定以来、「地域に根ざした『文化交流拠点・広島』を目指して」を基本目標として、県民一人ひとりが主体的に文化を享受できる環境づくりや、県民の自主的な文化活動の活性化などに取り組み、様々な成果が得られましたが、その一方で解決すべき課題も残っています。

公立文化施設等の整備

県においては、県立総合体育館（グリーンアリーナ）、県立美術館を拡充整備し、県立歴史民俗資料館、県立歴史博物館とあわせて県民の文化の鑑賞機会を拡充してきました。

また、市町村においても、瀬戸田町民会館（ベル・カントホール：瀬戸田町）、ふくやま芸術文化ホール（リーデンローズ：福山市）、はつかいち文化ホール（さくらぴあ：廿日市市）、しまなみ交流館（テアトロシェルネ：尾道市）をはじめとする文化会館や、広島市現代美術館（広島市）、三良坂平和美術館（三良坂町）、蘭島閣美術館（下蒲刈町）、平山郁夫美術館（瀬戸田町）、ふくやま文学館（福山市）、呉市海事博物館（仮称）（呉市）など地域に根ざした個性あふれる文化施設の整備が進み、地域住民の文化活動の場、文化鑑賞の機会が充実されるとともに、地域文化の積極的な発信が行われています。

文化財の指定等と景観づくり

文化財については、草戸千軒町遺跡、冠遺跡群など埋蔵文化財の発掘調査を着実に進め、県立歴史博物館等において、その公開と活用を積極的に行うとともに、有形・無形の文化財等の指定（国指定260件、県指定887件：平成15年2月14日現在）を行っています。また、平成8（1996）年には、厳島神社、原爆ドームが世界遺産に登録されたところです。

このように文化遺産の継承と活用を推進する一方、県立自然公園や中央森林公園の整備などによる豊かな自然景観の形成、竹原や鞆をはじめとする歴史的街並みや歴史的景観の保全により、広島らしい景観づくりが行われています。

地域の様々な動き

このほか、地域においては、朝鮮通信使の再現（下蒲刈町）、そばの里づくり（豊平町）、灰塚アースワークプロジェクト（総領町、三良坂町、

吉舎町)など県内各市町村においては、地域固有の歴史や文化を生かした個性豊かなまちづくりが進められています。

また、酒づくりの命とも言える水を守るための上流の森林保全活動(東広島市)や、義務教育への邦楽の導入に伴い行われた調弦、糸替のしやすい「新福山琴」の開発(福山市)などは、従来の文化の枠を超え、環境保全、産業振興へも広がりを見せる新しい動きとして注目されています。

国際交流の推進

国際交流においては、平成6(1994)年には、アジアの国と地域を代表するアスリートがその技と力を競い合う第12回アジア競技大会広島が開催され、大会期間中に行われた選手、関係者と県民との多彩な交流は、草の根の国際化を大きく進展させる契機となりました。

また、平成9(1997)年には、アジアを中心とした開発途上国の人材養成の支援を目的としたひろしま国際プラザを整備し、県民と世界各国の人々との交流の場を拡充しました。

全国的イベントの開催

全国的なイベントとしては、平成11(1999)年に「第11回全国生涯学習フェスティバルin広島(まなびピア広島'99)」、平成12(2000)年に「第15回国民文化祭・ひろしま2000」、平成13(2001)年に「第14回全国健康福祉祭(2001ねんりんピック広島)」、平成14(2002)年には「第15回全国スポーツ・レクリエーション祭(スポレク広島2002)」を開催し、全国の老若男女が県内各地を訪れ、文化・芸術、スポーツを通じた交流を楽しみました。

国民文化祭・ひろしまの開催

特に、「第15回国民文化祭・ひろしま2000」は、市町村、関係団体、ボランティア等の協力を得て、全県的に開催され、ひろしまの多彩な文化・芸術を全国に向けて発信することができました。この開催に向け、文化・芸術の各分野において、すそ野の拡大と技能のレベルアップなどが精力的に図られ、広島県の文化活動の活性化に大きな効果をもたらし、その流れはけんみん文化祭へと受け継がれたところです。

今後の課題

残された課題としては、各地の文化施設が地域の文化の発信、交流拠点として十分に活用されていないこと、高度化、多様化が進む県民の文化ニーズや、国際化、情報化の進展といった時代の変化への対応が不十分であることなどがあげられます。

基本目標

「21世紀のひろしま文化」を発信するために

～ つくる。つなぐ。たのしむ。～

社会経済の急速な変化が進む中，文化の重要性は広く認識されてきています。

とりわけ，地方分権の時代において，地域，地域が輝く個性を発揮する上で，文化の果たす役割は極めて大きくなっています。

県政中期ビジョンの目標として掲げた「元気な広島県」づくりの実現においても，文化・芸術の振興がより一層重要性を増しており，21世紀を歩み始めた広島県の新たな魅力の創出が求められています。

広島県は，風光明媚な瀬戸内海や四季折々の彩りを見せる中国山地をはじめとする，豊かな自然と交通交易の要衝の地として栄えた歴史を持ち，これらを背景として多彩な文化を育んできました。

このような過去からの財産を現在，未来へと「つなぐ」（継承する）とともに，地域の文化，他県の文化，他国の文化を「つなぐ」（交流する）ことにより，「21世紀のひろしま文化」として発信できる新たな文化を「つくる」（創造する）ことが，まさに今，求められています。

それは，これまでのように堅苦しいものではなく，余裕をもって，生活を，仕事を，行政推進においても，そして文化・芸術活動に参加する上でも，「たのしむ」心で臨みたいものです。

「つくる。つなぐ。たのしむ。」をキーワードに，「『21世紀のひろしま文化』を発信するために」を基本目標として，広島県の文化・芸術振興を進めます。

施 策

基本目標「『21世紀のひろしま文化』を発信するために ～つくる。つなぐ。たのしむ。～」の実現方策として、次に掲げる施策の実施に努めます。

1 創造を促す文化・芸術環境の充実

21世紀の新たなひろしま文化の創造には、東京に一極集中している今の価値観にとらわれることなく、地域に埋もれた文化の芽や、輝く個性を発掘し、大きく育てていく環境づくりが必要であると考えます。

また、県民一人ひとりが主体的に行う文化・芸術活動の活性化により、すそ野を拡大させるとともに、文化・芸術水準の向上により、頂点を高めることが重要であり、そのための施策は、常に県民の視点に立って充実させる必要があります。

さらに、地域固有の文化を生かした潤いのある生活空間、文化的産業の創出などにより、創造を促す文化・芸術環境づくりを推進する必要があります。

(1) 優れた文化・芸術の鑑賞機会の充実

文化・芸術水準の向上には、質の高い文化・芸術に直接ふれ、県民の豊かな感性を磨くことが重要であり、県民が等しく、優れた文化・芸術を楽しむことのできる機会を充実するとともに、その積極的な広報に努めます。

(2) 文化・芸術の活動機会と発表機会の充実

県民誰もが自分の望む文化・芸術活動に参加し、技能向上が図れるよう、活動や発表のための施設の充実や、個人と文化・芸術団体とをつなぐコーディネート機能の強化などにより、日頃の文化・芸術の活動機会、成果の発表機会の充実に努めます。

(3) 創造活動を担う人づくり

地域の文化・芸術を支える幅広い人材を育成するため、文化・芸術団体の指導者、文化施設の企画担当者・舞台技術者・学芸員などを対象とした研修、ワークショップの開催や、若手芸術家の育成などを支援します。

(4) 文化・芸術を通じた青少年の育成

次代を担う青少年が、豊かな感性を育み、創造する力を養うためには、文化・芸術が重要な役割を担っています。

このため、青少年が文化・芸術にふれる喜びを知り、これと密接な関係にあることばについて理解を深めていくための取組みを推進します。

また、学校教育における文化・芸術活動を通じて、子どもたちの文化的素養の向上に努めます。

(5) 文化的産業の創出

文化・芸術やその情報そのものが商品価値を持つ一方で、製品・サービスに、デザインやアイデアなどの生活を楽しむ視点、文化性を付与し、付加価値を高める産業が注目されるなど、文化と産業の密接な関係を踏まえ、産業デザインの振興や、文化の視点を生かした産業の育成を支援します。

(6) 潤いのある生活空間の創造

美観性やデザイン性に配慮した、まち・むらの景観づくりを行うとともに、年齢や性別、身体的能力、国籍や文化など人々の様々な特性や違いを超えて、すべての人々に配慮し、利用しやすいまちづくりやものづくり、しくみづくりを行うというユニバーサルデザインの考え方を取り入れた、潤いのある、住みやすい生活空間の創造に努めます。

2 多様な主体による文化・芸術交流の推進

文化・芸術交流は、自らの文化の再認識や技能向上の契機となるとともに、人と人とが分かりあい、異文化理解を促進し、ひいては世界平和の実現に貢献していく礎を築くものとなります。

このため、ひろしま文化の国内外への発信や、県外・海外の多種多様な文化・芸術の受け入れを、県民、企業、NPO、行政など多様な主体において推進する必要があります。

また、地域の交流拠点としての公立文化施設の充実を促進し、情報ネットワーク構築のための基盤を整備するとともに、文化・芸術振興と観光振興やまちづくりとの有機的な連携による相乗効果を促すことで、地域の活性化を図る必要があります。

(1) 地域交流の推進と交流拠点の充実

特色ある文化をもつ地域との交流を進めるとともに、世代やジャンルなどの枠を越えた文化・芸術交流を促進します。

また、公立文化施設は、各地域における文化・芸術の活動、発表、鑑賞の場として一定の役割を果たしていますが、今後は地域における交流拠点として、地域の個性を生かした文化・芸術の創造・発信機能の強化が求められており、そのための支援を行います。

(2) 国際文化・芸術交流の推進

国際的に著名な文化・芸術団体との相互交流による水準の向上はもとより、異なる文化の融合による新しい文化・芸術の創造を促進します。

あわせて、地域における国際交流を効果的に推進するなど、多様な主体による内外に開かれた文化・芸術交流を促します。

また、世界トップレベルの文化・芸術鑑賞機会を県内で提供する機会を設けるなど、本県の魅力づくりに努めます。

(3) 観光振興との連携

国際的な広島顔である世界遺産、豊かな自然景観、各地に伝わる祭りや伝統行事、伝統芸能など、本県の多彩な文化資源は同時に、重要な観光資源でもあります。

こうした文化資源を活用した観光ルートの開発や、集客力の高い芸術公演・展示の誘致・支援など、観光振興との連携を推進します。

(4) 文化を生かしたまちづくりの支援

地域固有の豊かな文化資源 ～歴史・文化・自然など～ を生かしつつ，県民やNPO等が楽しみながら参画する，個性あふれる，住んでいることに誇りが感じられるようなまちづくりを支援します。

(5) 文化・芸術情報ネットワークの基盤整備

インターネットなどITの普及により，国内外の情報の受発信は，瞬く間にできるようになりました。

こうした高度情報社会に対応するため，文化・芸術団体や人材情報，文化イベント情報，文化施設情報など様々な文化・芸術に関する情報ネットワークを構築・拡充するとともに，県民や全国・世界の人々がいつでも求める情報にアクセスできる，文化・芸術情報の基盤整備を進めます。

3 文化遺産の活用と次世代への継承

広島県は、風光明媚な瀬戸内海や、緑あふれる中国山地の山々などの豊かな自然と、古くから大陸と近畿や、山陰と瀬戸内を結ぶ交通交易の要衝の地として栄えた歴史を背景に、地域に根ざした有形・無形の多彩な文化遺産を擁しています。

こうした文化遺産は、県民共通の財産として積極的に保護し、次世代に継承していく必要があります。

また、新しい視点から文化財を見直し、広く県民に親しまれる機会をつくることにより、これからの文化創造の源泉としていく必要があります。

(1) 文化遺産の保存と継承

国及び県の指定文化財をはじめ、近代の遺産、歴史的建造物、歴史的景観など有形・無形の多様な文化遺産は、郷土に対する誇りや愛着を育むものとして積極的に掘り起こし、広島の顔が見える文化遺産として、その保存、継承と活用に努めます。

(2) 伝統文化の継承とそれを支える人づくり

地域固有の歴史や風土の中で育まれてきた伝統芸能や、祭りをはじめとする様々な伝統行事、あるいは伝統的な産業技術は、地域の個性確立の基盤となり、地域に活力を与えるものであり、その保存、継承と活用に努めます。

また、こうした地域の伝統文化を正しく保存し、継承していくため、その担い手となる後継者の育成や、それを支える行政、関係団体の専門職員の養成の支援などにより、地域社会全体で伝統文化を支える人づくりを進めます。

推進体制

1 総合的な文化・芸術振興体制の充実

文化・芸術振興における施策を総合的に推進するため，県と市町村それぞれの役割を明確にした上で，より効果的な施策を実施できるよう推進体制の強化を図ります。

また，県内の文化・芸術振興を行政と民間が一体となって推進する組織として，財団法人ひろしま文化振興財団を育成・支援するとともに，市町村の文化・芸術振興財団，公立文化施設とのネットワーク化を図ります。

2 多様な主体による連携の推進

文化・芸術の振興は，行政，企業，NPOなど多様な主体が連携し，社会全体で取り組むことが必要です。

企業やNPO自らが行う文化・芸術活動，あるいは文化・芸術に対する支援活動を促進するため，税制改正などの制度改革や仕組みづくりを，国をはじめ関係機関に対し積極的に働きかけていきます。

また，文化施設の運営や文化事業を，県民やNPOの参画を得ながら行うなど，多様な主体との協働を推進します。

3 学校と地域との連携

未来のひろしま文化の担い手である子どもたちが，地域の文化を伝承し，豊かな感性を磨き，生きる力を身につけるため，学校が，地域の優れた芸術家や文化・芸術団体の指導者，文化財保護に携わる人などと協力し，子どもたちへの文化・芸術体験や交流を充実するなど，地域との一層の連携を図ります。

文化・芸術振興施策の体系

1 広島県の文化・芸術振興を進めるために

創造を促す文化・芸術環境の充実

優れた文化・芸術の鑑賞機会の充実
文化・芸術の活動機会と発表機会の充実
創造活動を担う人づくり
文化・芸術を通じた青少年の育成
文化的産業の創出
潤いのある生活空間の創造

多様な主体による文化・芸術交流の推進

地域交流の推進と交流拠点の充実
国際文化・芸術交流の推進
観光振興との連携
文化を生かしたまちづくりの支援
文化・芸術情報ネットワークの基盤整備

文化遺産の活用と次世代への継承

文化遺産の保存と継承
伝統文化の継承とそれを支える人づくり

推進体制

総合的な文化・芸術振興体制の充実
多様な主体による連携の推進
学校と地域との連携

2 体系別文化・芸術振興施策（主要な取組）

創造を促す文化・芸術環境の充実

優れた文化・芸術の鑑賞機会の充実

けんみん文化祭総合フェスティバルの充実
広島交響楽団への支援
県立美術館・博物館における常設展・企画展の充実
県立美術館所蔵作品を活用した地域の美術館や学校における巡回展の開催

文化・芸術の活動機会と発表機会の充実

けんみん文化祭の開催や国民文化祭参加への支援
県民の創作活動を奨励する広島県美術展の開催
広島県高等学校総合文化祭の開催や全国高等学校総合文化祭参加への支援
障害者の社会参加を促す文化・芸術活動の促進と発表機会の確保
高齢者のふれあいと生きがいつくりのための文化・芸術活動の促進と発表機会の確保
県民の文化・芸術活動と発表機会を支える公立文化施設の整備・充実

創造活動を担う人づくり

地域における文化・芸術活動を担う人々や文化・芸術団体への支援
市町村や文化・芸術団体等における自主企画能力向上の支援
高齢者を対象とした地域活動における指導者の育成
地域において文化・芸術の分野で功績があった人・団体の表彰

文化・芸術を通じた青少年の育成

家庭、学校、地域が連携して行う青少年の文化・芸術活動の支援
青少年の豊かな感性や創造力を育成する文化体験事業の推進
家庭や地域の教育力を活用した児童生徒の豊かなことばの力(表現力)の育成

文化的産業の創出

新たな地場産品等の開発の促進のための支援
伝統的な技術・技法を生かした伝統工芸産業の振興
特産品の展示、即売を行うイベントの開催による広島の食文化の創造と交流の促進

潤いのある生活空間の創造

県民のふれあい、やすらぎの場である自然公園等の保全と自然体験施設の整備の促進
県民の景観意識の高揚と効果的な景観形成の推進
歴史、文化や自然と調和した都市空間の形成
憩いの場としての親水性に配慮した水辺空間の創出
ユニバーサルデザインの普及

多様な主体による文化・芸術交流の推進

地域交流の推進と交流拠点の充実

地域における新たな創造を促す文化・芸術交流の推進
地域資源を活用した都市と農山漁村との交流促進
中四国地方など広域的な地域連携による文化・芸術交流イベント開催の促進
地域の特性を生かした博物館など整備への支援
公立文化施設の有効活用のためのソフト面充実への支援

国際文化・芸術交流の推進

文化・芸術団体の海外派遣及び招聘などによる国際的文化・芸術イベント開催の推進
新たな魅力創出のための国際的な文化・芸術拠点整備の検討
姉妹友好提携関係にある諸外国との交流

観光振興との連携

地域固有の歴史・文化をはじめとする多彩な観光資源の活用
地域の豊かな自然・文化などの全国への情報発信
地域が誇る郷土芸能のブラッシュアップと全国的イベント開催への支援

文化を生かしたまちづくりの推進

地域資源を生かした個性豊かなふるさと活性化への支援
地域の祭り・行事や文化・芸術活動を行うコミュニティへの支援

文化・芸術情報ネットワークの基盤整備

文化・芸術団体、イベント、施設などの情報ネットワークの充実
インターネットによる文化財情報の公開や生涯学習情報提供機能の充実
美術館や博物館等における文化・芸術情報発信機能の充実

文化遺産の活用と次世代への継承

文化遺産の保存と継承

広島顔が見える国，県指定文化財の保存・活用の促進
埋蔵文化財の保存整備及び利活用の推進
文化財ボランティア活動の支援

伝統文化の継承とそれを支える人づくり

地域における伝統文化継承者の育成
学校教育における我が国の伝統芸能の体験・指導
多種多様な地場産業振興のための人材の確保と養成への支援

推進体制

総合的な文化・芸術振興体制の充実

- ・ 県と市町村の役割の明確化と連携の促進
- ・ 行政と民間が一体となって推進する組織としての財団法人ひろしま文化振興財団の育成・支援
- ・ 県内の文化・芸術振興財団や公立文化施設のネットワーク化の推進

多様な主体による連携の推進

- ・ 企業やNPOが行う文化・芸術活動や支援活動促進のための仕組みづくりの働きかけ
- ・ 文化施設運営や文化事業実施における多様な主体との協働の推進
- ・ NPO・ボランティアが活動しやすい環境づくりの推進

学校と地域との連携

- ・ 学校と地域の芸術家，団体指導者，文化財保護関係者などとの連携の推進